

## 「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

### 小中学生海外派遣に向けて

国際化が進み、ますます英語によるコミュニケーション能力が求められるようになっていきます。学校では、学習指導要領の改訂に伴い、小学校では3・4年生で外国語活動を行い、5・6年生では教科として外国語科の学習を行うこととなりました。中学校では、扱う語数も増加し、授業は英語で行うことが求められています。そして、外国語（英語）教育は、日南町における小中一貫教育の柱の一つと位置づけています。

平成27年度から始まった小中学生のアメリカ・シアトル市への海外派遣事業も今年度で5年目となります。これまでの4年間で37名の小中学生がアメリカを訪問し、貴重な経験をするとともに、それを派遣の成果として持ち帰り、小中学校の仲間など、多くの人に伝えてくれました。

今年度の派遣については、3月20日(金)～26日(木)の5泊7日と決まり、小中学生に参加希望を募ったところ、10名の参加枠に対して21名もの応募がありました。これまでは希望者が10名に満たない状況が続いており、今回もどれだけの子どもたちが意欲を示してくれるだろうかと心配もしていましたが、大変嬉しい結果でした。

21名の希望者のうち数名は過去にも派遣の経験がある子どもたちでした。2度目の派遣にも意義は大きいと考えていましたので、希望者が少なければ、ぜひ派

遣したいところでしたが、今回はより多くの子どもたちに経験させることを優先することとし、経験者以外の応募者から選考いたしました。選考にあたっては、面接や英語力、学校での日々の学習や生活の様子、アンケートによる自己評価等を総合的に判定することとし、10名の派遣者を決定しました。今回応募した子どもたちはそれぞれ大変高い意欲を持っていて、面接でもそのことが伝わってきました。志望動機や目的意識、派遣されることへの責任感等、それぞれ甲乙つけがたいものがありました。どの子を選んだとしても、十分成果が得られ、期待に応えてくれるだろうという評価をすることができ、その中で10名に絞るのはとても難しいことでした。このことは結果を手渡す際にも直接伝え、今回選ばれなかった人も、来年、またぜひ応募してほしいということも重ねて伝えました。

子どもたちの応募動機を尋ねた際に、これまで派遣された先輩や同級生の姿を見て、「自分もチャレンジしてみたい。」と思ったという子がたくさんいました。海外派遣やシアトルの中学生との交流、京大留学生との交流など、これまで行ってきた取り組みの成果が子どもたちの意欲となって表れたように思います。

子どもたちには、海外派遣や外国人との交流活動、日々の学習等を通して英語力やコミュニケーション力をさらに高めていってほしいですね。

## にちなん子ども応援隊だより No. 80

こんにちは。

11月も定例的なものの他、日南小の読み聞かせ、3年生の総合的な学習の時間の活動支援、小中合同マラソン大会支援等、多くのボランティアの方にお世話になりました。ありがとうございました。

今回は、11月16日(土)に行われた小中合同マラソン大会の様子を紹介いたします。

当日はマラソン日和。きれいに色づいた山々に囲まれ、青空の下を230人余の子ども達が走りました。このマラソン大会は、計画、準備、進行や選手宣誓も小学生と中学生で協力して行います。「にちなん子ども応援隊」も子どもたちのお手伝いに参加しました。

さて、まず小学生の部。5年生までは学年ごとに走ります。中学生は応援だけでなく、何人かの生徒は声をかけながら小学校下学年の子ども達の伴走もしてくれました。

6年生は、中学生と一緒に男女別に走ります(男子3キロ、女子2キロ)。来春には中学生になる6年生。きっと、中学生の姿に様々なことを学んでいることでしょう。勿論、たくさんの保護者やご家族、地域の方が沿道で応援してください。子ども達は、きっと



苦しかったり諦めそうになったりしているとは思いますが、自分と闘いながら多くの方々のお援を力にゴールに向かいます。どの子も生き生きとしたチャレンジの表情でがんばっていて、嬉しくなりました。一人一人しっかり走りぬきました。

保護者、ご家族、地域の皆さま方、ご声援ありがとうございました。

にちなん子ども応援隊の活動に興味・関心がある方、体験してみたい方、気軽にご連絡ください。

連絡先…日南町教育委員会(0859-82-1118)

コーディネータ携帯(080-5232-7712)

